

育を。

○ 小中学校の一貫教育の進捗について、やるメリットは。将来的には全校に適用するのか。

○ 小・中学校の運動会やイベントなどが開催される時、高齢者のためにも公共施設に車を駐車できるように働きかけていたきたい。

○ 各校生徒数の減少で学級数が減る。

○ 学級数が減ると、先生の人数が減り、中学校は助っ人の先生が必要となる。また、クラス替えをしても変化なし。

○ 学校の統廃合は早く進めたほうがよい。

グループC

参加者からの 主な意見

①高齢者福祉について (参加者11人)

○ 独り暮らしの高齢者との付き合いでも、助け合いには限度がある。

○ 若い人に負担をかけない。自立していきける社会を目指すべき。

○ バリアフリー化を進めること。高齢者が外出しやすいよう、手すりなどを検討してほしい。公園のトイレが少なく、改修も進んでいない。

○ 身近な例として孤独死があっ

たが、近所の付き合いはなかなか難しい。

○ 特に男性は、退職した後地域の中に溶け込むのは難しい。

○ 見守り活動では、企業と協定を結ぶ。

○ 高齢者で、パソコンを使えない人、苦手な人もいる。耳の聞こえない人にも、もう少し配慮してもらいたい。

○ 市のホームページは、分かりづらい。高齢者にも見やすくしてほしい。

○ 65歳が高齢者の時代ではない。介護保険の認定について。基準についての不安。申請してから認定が出るまでが長い。

②子育てについて (参加者14人)

○ 若い母親は、ネットなどで子育てを注視している。もともとPRしたらいいのではないか。

○ 子育てしやすい情報の発信の方法。

○ 若いお母さんが孤立しないような育児支援を。子育てしやすいところを市はアピールしていない。

○ 地域のつながりがない。子どもとつながる場が必要ではないか。

○ 妊婦さんが生活しやすい環境が必要である。

○ 子育てするには地域だけでは

なく、企業での対応も必要ではないか。

○ 子どもたちが自然に親しめるビオトープなどがあるとよい。

○ 自然農法など、自然回帰の考え方が若いお母さんにあると聞く。今残されている自然を大切にしてほしい。

○ 親子つるゴンで子育てのPRを。

○ 子育ては地域とのコミュニケーションの中で。今は希薄化している。

○ 子どもがお金を使うことに不安がある。

○ 子育ての教育面として、社会的なマナー、ルールは家庭からではないか。



グループCの様子

○ 元気なおばあちゃん、おじいちゃんがいほしい。

○ 子どもが社会のルールを理解していない。

会場でのアンケート意見 (一部の紹介)

○ このような機会があると、市議のことも、市民の思いも知ることができ、とても良い機会だと思った。もっと増やしてほしい。参加議員に感謝する。ドッグランについても何うことができて良かった。是非鶴ヶ島市にもドッグランをお願いしたい。災害についてのテーマもあれば良かった。

○ 有意義で、市の向上につながると思う。

○ 会議室の都合もあるかと思うが、同じ会議室に3グループが一緒では、お互いの話し声が聞こえてきて、意見が聞きづらかった。スケジュールあるいは会議室の都合を考えていただきたい。

○ 時間が少ない。
○ 市民の皆さんの声を聴くというの、大変なことだと思うが、議会は市民の声を取り上げて活動するものだと思うので、今後も議会報告会を開催してほしい。
○ 一本松駅の南口の開発が行われているが、早く改札口を作ってもらいたい。

○ 市議会議員は、地域住民との話し合い、報告(経過を含む)が必要。市議会議員は議会への報告、議論することがいい刺激・緊張を生み、市職員への活性化も図れると思う。

○ 時間が足りない!!ではないか。2つ位の会場を用意してほしい。このような会が開かれることにより、議会、議員と住民との絆が生まれるのではないかな。長い目で続けていただきたい。

○ 大学生や大学のゼミで話しても、想像でしか話ができないので、現場の声が聴けるのが良かった。高校生にも来てほしい会であった。市民の声が直接議員に届くのが良いと思った。

○ 今回の進め方は大変良かったので、今後も続けてほしい。事前にやり方、進め方を公開してもらえると準備ができる。
○ 地域の要望、課題が多いので、何箇所かでやってほしい。

○ 初めて参加したが、色々な意見を聞くことができて良かった。市民としての声が出せる機会は

○ いつも議会報告会に工夫があり、開かれた議会に向けて、大変努力されていることを感じている。